

バイオマスライブとエゾシカ丼の販売

第62回北海道植樹祭inおびひろ



エゾシカ丼販売ブースの前で
あうるずメンバー記念撮影

2011年5月29日（日）9:00～14:00

場所：帯広の森（帯広市南町南7線56番地）

主催：北海道、北海道森林管理局

共催：NPOコミュニティシンクタンクあうるず

植樹祭でバイオマスライブ＆エゾシカ丼の販売

27年ぶりに帯広で開かれた植樹祭には1600人の来場者があり、その中であうるずは同時開催のバイオマスライブを



共催し、企画展示では「エゾシカを食べて森を救おう」をコンセプトに一杯300円でエ

ゾシカ丼を販売。約200杯を販売しました。



使用したエゾシカ肉は新得の上田精肉店さんのシカニクジンギスカンです。

上田精肉店さんHP

<http://www.ezodeer.com/>

当日写真

販売スペース



販促ポップ等はあうるずひよこデザインプロジェクトで作成。

お客さんの反応は…



柔らかくて味もいい！と2杯買ってくださいる方もいました。

バイオマス発電車



バイオマス発電機をのせたトラックで野外でも発電！

「廃食用油」がエネルギー源！！

BIOMASS LIVE!



2011年5月29日（日）

一部11:00~/二部13:00~

場所：帯広の森特設ステージ（帯広市南町南7線56番地）

主催：北海道、北海道森林管理局

共催：NPOコミュニティシンクタンクあうるず

出演：SE-NO、帯広三条高校吹奏学部、中小企業オーケストラ



地球に優しいエネルギー

バイオマスエネルギーは植物や動物の残さ等から作り出す、地球温暖化の原因と言われている二酸化炭素をカウントしないエネルギーとされています。

特に、皆様になじみの深い廃食油（天ぷら油の残り物）をBDFにして、それを使って音楽を奏でる事を考えました。

過去には、サッポロシティジャズやおこっぺ夏まつりで開催され、今回の植樹祭では50ℓのBDFを使用し、130kgのCO₂削減に貢献しました。

バイオマスライブ推進の考え方(イメージです)



BDFって？

BDFとは、バイオディーゼル燃料の略で、廃食用油等を生成して作られるディーゼル燃料の総称です。

バイオマスライブって？

BDFを燃料にして電気を作り、その電気でライブをする地球に優しいエコ活動です。

※100ℓのBDFを使用すると約260kgの削減に貢献できます。

過去のバイオマスライブ

サッポロシティジャズ

BDF使用量

2008年 5,400L

2009年 9,300L

2010年 12,302L



サッポロシティジャズは2008年からバイオマス燃料100%で電力や空調、音響、照明を行っております。

おこっぺ夏まつり2010ではJA、漁協、商工会の婦人部が協力し485Lの廃食油が回収され、地域で地球温暖化を考えるきっかけとなりました。

新聞記事



2011年5月29日十勝毎日新聞



2011年5月29日十勝毎日新聞



2011年5月23日北海道新聞